

栄 さかえ小 ニュースレター

4年生 笠間・水戸方面校外学習

10月30日（水）に4年生が校外学習で笠間・水戸方面に出かけました。午前中は、陶芸の町として有名な笠間市にある桜佐陶工房に行き、手びねり体験を行いました。土の感触を手で感じながら、マグカップやお皿など、思い思いの作品作りに挑戦しました。最初は形を整えるのに苦戦する子供たちもいましたが、最後は全員が個性あふれる「世界に一つだけ」の作品を完成させることができました。作品が仕上がったときの子供たちの顔には「自分の手で作り上げた」という達成感と喜びがあふれていました。焼き上がりまでには、少し時間がかかりますが、作品の到着をぜひ、楽しみにしてほしいと思います。

午後は、水戸市の県庁に向かい、県政シアターで茨城県の概要に関する映像を見ながら学びを深めました。また、展望ロビーにも足を運び、眼下に広がる水戸市の景色を楽しみました。曇り空のために、遠くの景色までは見ることができませんでしたが、いつも生活している場所とは違った視点から茨城を感じることができたようです。

今回の校外学習を通して、地元である茨城の魅力に改めて触れるとともに、ものづくりの楽しさも体験できた貴重な一日となりました。



授業の1コマ

1年生は国語「なにに 見えるかな」の学習と関連付けて、先日の公園探検で集めた落ち葉や木の実を使って作品づくりに挑戦しました。色とりどりの葉や木の実を組み合わせ、「これはチョウに見える！」「魚をつかってみたい！」と、子供たちの想像力が広がり、様々な生き物や形が生まれました。中にはストーリーを考えて、それを1枚の画用紙の中に表現した子供もおり、その発想と豊かな表現力には本当に驚かされました。作品づくりを通じて、秋の自然に親しむと同時に、自分の考えを形にする楽しさを味わうことができたようでした。

